



各位



2021年2月18日

会社名 株式会社ジェイック
代表者名 代表取締役 佐藤 剛志
(コード番号 7073 東証マザーズ)

「働きがいのある会社」ランキングで5年連続ベストカンパニー受賞 中規模部門で13位に選出

当社は、Great Place to Work® Institute Japan（所在地：東京都品川区、代表：荒川陽子）が実施した、2021年版「働きがいのある会社」ランキング中規模部門（従業員100-999人の部門）にて、第13位に選出されました。2021年2月16日(火)、オンラインにて表彰式が行われました。

Great Place To Work® Institute が運営する「働きがいのある会社」ランキングとは、世界約60カ国で「働きがい」に関する調査・分析を行い、一定の水準に達していると認められた会社や組織を発表するランキングです。当社は今回の選出により、2017年の初エントリーから5年連続でベストカンパニー選出となりました。

※2021年版「働きがいのある会社」ランキングに関しては下記URLをご参照ください。

<https://hatarakigai.info/>



＜新型コロナウイルス感染拡大とジェイック社員の働き方の改革＞

昨年、発生した新型コロナウイルスの影響により、社会情勢は大きく変化しました。当社では、社員が安心安全に働ける環境を提供するため、新型コロナウイルス感染拡大の初期段階から働き方改革を進め、2020年4月7日に緊急事態宣言が発出された直後の4月8日から、原則として全社員をテレワークに切り替えました。

やむを得ず出社する際には、稟議の申請が必要なフローに変更し（2020年6月16日～2021年2月15日の正社員・契約社員の平均出社率は19.5%）、会社からは、社員が自宅での仕事環境を整えられるように（仕事用の机、いす、オンライン用のグリーンバック、イヤホンマイクの購入等）、全社員を対象に一人20,000円の手当を支給したほか、2021年2月からは、自宅中心の生活となっていることによる光熱費等の上昇に鑑み、月3,000円のテレワーク手当を全社員に支給しています。

なお、こうした働き方の変化にともない、経営資源の効率的・効果的活用を図るため、一部の事業拠点の統合・移転も行いました。

＜テレワーク実施についての当社社員の声＞

テレワークについて社員からは、「通勤電車によるストレスがなくなり、より仕事に集中できるようになった」

「朝、家族とゆっくり食事を取れるようになり、コミュニケーションが増えた」「妻が出社中心なので、夫の私が家事や育児を行うなどして、改めてライフワークバランスの大切さに気付いた」「保育園へ子どもを預けていたため、やむを得ず時短勤務をしていたが、テレワークで通勤時間がなくなったことで、その分勤務時間を延ばせるようになり、実質フルタイムで働けるようになった」といった声が寄せられており、今後も当社は、テレワークを原則とした働き方を続ける方針です。

また、コロナ禍による影響は、当社の事業の価値を社員が再認識するきっかけともなりました。コロナ禍によって雇用情勢が悪化するなか、当社には、アルバイトが減って就職を考え始めたフリーターや、経済的事情により中退せざるをえなくなった中退者などからの相談が、これまで以上に寄せられています。こうした方たちをご支援させていただき、多くの方から感謝の言葉をいただけていることが、当社社員に、これまで以上の貢献実感や自己肯定感をもたらしているのです。

今回の結果について、当社常務取締役の近藤は、以下のように述べています。

「5年連続の選出ということで、大変嬉しく思っています。働き方改革というのは何年も前から言われていましたが、新型コロナウイルスを機に、本当の働き方改革が全ての企業に迫られる形となりました。昨年の春頃、この状況が1年以上続くと考え、本気で働き方やサービスの改革に動いた企業がどの程度あったのでしょうか。この点、当社では、社員が安心安全に働ける環境の整備と、リアル（対面型）での提供が当たり前だった採用支援サービス・教育研修サービスすべてのオンライン化を素早く進めることができました。

当社がこれを実現できたポイントは2つあると考えています。1つは、当社はコロナ禍以前から、オンラインの時代を見据えて、一部サービス（求職者との面談）のオンライン化に取り組んでいたこと。もう1つは、今回、すべてのサービスをオンライン化するにあたり、それに関わる社員の人選を適切に行ったことです。特に後者については、当社では日頃から経営層と社員との1on1ミーティング等を大切にしており、それらを通じて「調査がはやい社員」「ITツールに詳しい社員」「現場や他事業部との意思疎通がうまい社員」など、各々の強みや特性を把握できていました。そうした強みや特性を踏まえて最適な人選・役割分担をしたことが、全サービスのスピーディーなオンライン化を実現し、全社員のテレワークも可能にしたと思っています。日頃から経営層と社員との距離を縮め、関係性を構築する取り組みを続けてきた結果であり、組織作りの重要性が改めて認識されました。」



近藤 浩充

当社常務取締役カレッジ事業本部長兼マーケティング開発部長。大学卒業後、情報システム系の会社を経て入社。IT戦略事業部長、経営戦略室長、教育事業部長、若手の採用・就職支援を行うカレッジ事業部長を経て現職。若手求職者の傾向と企業の採用・育成課題の双方を知る立場から、当社の若手求職者向け就活研修・企業向け教育研修を監修するほか、一般企業、金融機関、経営者クラブ、高校などで、若手の採用や育成、キャリア形成等についての講演も多数行っている。

【お問い合わせ先】

株式会社ジェイック 担当：稲葉

E-mail： info@jaic-g.com テレワーク実施中のため、メールでのご連絡をお願いいたします。